

内浦公民館だより

令和3年12月10日発行

【発行】

内浦公民館

〒919-2351

高浜町山中 104-4-2

TEL.0770-76-2007

FAX.0770-76-2008

E-mail

Uchiura\_c.c.@town.takahama.fukui.jp

# Artfull うちうら

(2021) <vol.99>

## 秋のハイキング 和田の路地めぐり



このフェンスの横の道に線路がありました



小学校の跡地の碑です。



11月21日（日）

和田公民館の村宮博明館長に和田の路地を案内して頂きました。初めに和田公民館の館内を見てから出発！「初めて和田公民館に来たわ、綺麗ななあ」等の声を聞きながら歩き始めてすぐ、和田公民館横の道の説明がありました。昔は線路が敷いてあり犬見から鉄鉱を運んでいたそうです。驚きから始まった路地めぐりは、『和田の散歩道』に入って行きました。古墳を見たり小学校の跡地を見て、ブルーフラッグ取得の海を眺めながら海岸沿いを歩き新宮神社の前の路地を通して和田公民館に帰ってきました。路地めぐりは、皆さんあっという間に時間が経った感覚のようでした。まだまだ知らない場所の発見が出来て楽しみながら勉強になったハイキングでした。

\*QRコード  
広報誌をカラーでご  
覧いただけます。



このブルーの網が無い  
と、砂が飛んで民家が砂  
だらけになるそうです。

●開館時間 午前8時30分～午後10時 ●利用時間 午前9時～午後9時30分  
※夜間利用が無い場合は午後5時00分で閉館いたします。

## ★内浦の魅力再発見★【下編】

区長の本井さんから「下区の総仕事の日みんな集まるから話を聞いたら良い機会」と提案を頂き、早速お邪魔しました。皆さんにお話しして頂きました。



《堤の写真》

奥：『とびつき』という行事について詳しく教えてください。

回答：1月3日の朝からする行事やで。ほおりさんがお宮さんの境内で集めた土を使って、お酒でねって木ですりこぎハンコを作る。半紙の5ヶ所（四隅と真ん中）にハンコを押してそれぞれ家に持ち帰り床の間に置いて乾かすんや。濡れたままでは使えんしなあ。これは、畑や田んぼの作りぞめに立てて使うんや。

奥：毎年作るんですか？

回答：そうや。田んぼやったら田植えの時に立てて、稲刈りの時には抜く。稲刈りの邪魔になるやろ。

奥：なるほど。ずっと続けている『とびつき』行事はすごいです！珍しい行事だと思います。以前【聖の滝】を見に行っただのですが、まだ水が流れていなかったのでも、水源の堤に行きました。初めて行ったのですが、静かで綺麗な場所でした。聞いたところによると、堤に着くまでの道から舞鶴市大山に続く道があったそうですが今でも行けますか？

回答：今は通れんなあ。昔は行き来が盛んで栃尾に椿油を搾るところがあったんや。その頃は椿をひろて持って行って椿油にしてもろた。「戦争中の頃には、栃尾に行って戦争の情報を聞いてきて村の人に教えたんや」という話も聞いたことがある。

奥：そうなんですか。やはり昔から舞鶴市との関わりがあったんですね。

回答：他には、行事で『かざ祈念』がある。

奥：それは、どんな行事ですか？

回答：正月から数えて210日に、大風が吹かんように祈念するのが『かざ祈念』や。あとは7月に夜祭、愛宕さんの祭りや。10月10日は『宮祭り』青海神社の神主さんに来てもらて、五穀豊穰・感謝や。

それから下区の自慢の1つは、総仕事の時に全員が時間ぴったりにそろふことやで（笑）

奥：確かにそうですね。これからも色々教えてください。今日は忙しい日に貴重な時間をとって頂き、ありがとうございました。

### 《地域ニュース》

日引ふれあい広場

ふるさとなつかし展



・唐箕（とうみ）  
ご家庭にあった農具の1つです。風の力で選別が出来る優れたものです！

昔懐かしい生活用品が数多く展示されています。レコードもたくさんあります。レコードを見て懐かしいと思う世代も見たことない世代も皆が楽しめる展示となっています。写真で当時の様子がわかるのもいいですね(\*^^\*)

開催期間は12月26日（日）まで。



・つぐら（つご）  
外で作業をする時に乳児をいれて使う、乳母車の様なものですね。丈夫な作りです。





今回は 稲垣栄洋 著『生き物の死にざま』です

この世に命を与えられたものすべては、最後は死を迎えます。それは人間だけでなく、犬や猫、小さな昆虫にいたるまで同じです。この書は昆虫、魚類、哺乳類、微生物等、晩年をどう迎えるのか、死を迎えるのか。室内に侵入してくる蚊はどんな思いで室内に侵入してくるのか。生き物の命の尊さと儚さを綴った本書、子供にも読んで欲しい1冊です。

空が見えない最後 セミは必ず上を向いて死ぬ。昆虫は硬直すると足が縮まり関節が曲がる。そのため体を支えきれずにひっくり返ってしまうのだ。死んだと思って、つついてみると翅（はね）をばたつかせたりする。死んだふりをしている訳ではない。起き上がる力さえ残ってないのだ。仰向けといっても、セミの眼は背中側についている複眼なので、空は見えずに地面が見えるだけである。その地面は幼年期を過ごす懐かしい場所でもある。セミの幼虫は地中で7年間過ごし、成虫になった地上では1か月という短い時間しかない。植物には根で吸い上げた水を植物全体に運ぶ導管と葉で作られた栄養分を運ぶ篩管（しかん）がある。幼虫は地中の導管から水分と僅かな栄養分を吸っているため、成長に時間が掛かるのである。成虫になると子孫を残すために篩管から栄養分を補給するのだ。オスのセミは大声でメスを呼び、交尾をし、メスは産卵する。繁殖行動を終えたセミは死を迎えるようプログラムされているのだ。木につかまる力を失ったセミは地面に落ちる。死ぬ間際にその複眼はどんな風景を見ているのだろうか。

母なる川を目指すサケたちの死出の旅 遠く離れた故郷の川に、どのようにして迷わずたどりつくことができるのか。サケたちは川の水の匂いでわかるといわれているが、本当に不思議である。故郷の川を探しあてたとしても、安心することはできない。海で育ったサケは塩分のない川の水に慣れるまで、しばらくは河口で過ごす。そのときにオスは筋肉隆々と、メスは美しく丸みをおびる。準備が出来たサケたちは秋から冬にかけて遡上を始める。群れとなって川上をめざすが、次々に困難が襲いかかる。漁師たちの網、クマの爪、そして人工の堰やダムが行く手を妨げる。サケたちはジャンプを試みる。何度失敗しても、何度打ちのめされても、挑戦を止めない。多くのサケたちはここを乗り越えられずに命を落とす。最近では魚道と呼ばれる魚の通り道をダムに設けたりしているが、偶然に出くわしたサケだけが通り抜けるのである。上流に行けば水かさは低く、川底の石が行く手を阻む。ヒレも尾もボロボロになっても上流を目指す。何が彼らをここまでかきたてるのだろうか。そして、ついに故郷に辿り着き、パートナーを選び、産卵をする。繁殖行動を済ませるとサケは死ぬようにプログラムされているのだ。故郷の川の匂いに包まれて、静かに死を受け入れるのだ。春になり卵から稚魚が現れる。サケが死んだ場所には死骸からプランクトンが発生し、稚魚たちの餌となるのである。こうして何代にもわたり、旅は繰り返され、命は循環しているのだ。

その他・海と陸の危険に満ちた一生…ウミガメ ・子を想い命がけの侵入と脱出…アカイエカ ・3億年命をつないできたつわもの…カゲロウ 等、様々な生き物の生と死が綴られています。

犬は2年で成犬になり、その後は人間の7倍の速さで、猫は1年で成猫になり、その後は人間の4倍の速さで年を取っていきます。ものすごい勢いで老いが訪れ、死が迫ってきます。それなのに彼らはジタバタすることもなく、毎日の散歩や飼い主に甘えることを楽しみとして「今」を生きています。同じことの繰り返しなのにいつも喜んでいきます。

生きることに悩んだり、苦しんだり、文句ばかり言っている私たちよりも、ずっと人生を謳歌し、生きる喜びと意味を知り、与えられた生命を輝かせているのではないかと思います。



# 四季の過ごし方～冬



12月4日(土) 13:30～

講師は山崎慶子さん。前回の夏編に続き、冬に向け【陰】【陽】の話を中心に、食べ物のより良い摂取方法を教えて頂きました。顔や体に出る変化を見ることによって、体の臓器の状態もわかってきます。初めて参加された方も興味をもってメモをしていました。自分の体を知る機会になり、参加者の皆さんは次回春編の開催も楽しみにしておられました。

<ネギみその作りのコツ>

ごま油を敷き、ネギとみそをネギの水分だけでじっくり時間をかけ炒めました。少し焦げ目をつけるのが、ポイント！風邪の予防になりご飯のお供にぴったりな一品です。



テーブルの上に設置した透明容器めがけ、30秒でペットボトルキャップ何個入るかチャレンジ！簡単そうに見えて、なかなか難しかったですね。チャレンジしてくださった皆さんありがとうございます(\*^^\*)順位の発表はありません。次回もチャレンジしてくださいね。



## 《これからの講座と年末年始休館日のお知らせ》

| 月  | 日  | 曜日                              | 講座内容   |
|----|----|---------------------------------|--|
| 12 | 21 | 火                               | 元気あっぷ生き生き倶楽部 <13:30～15:00>   |
|    | 24 | 金                               | 男の体操(内浦公民館) *通常と曜日が違いますのでご注意ください。  |
|    | 25 | 土                               | 冬休み習字教室 *参加人数により時間調整   |
|    | 24 | 金                               | ハンドメイド教室(第二弾) <リメイク>タオル使った敷物作り(日引ふれあい広場) <13:30～15:30>                       |
|    | 26 | 日                               | フラワーアレンジメント講座(お正月用)<br>午前 漁協音海支所 大会議室<10:00～12:00><br>午後 内浦公民館 <14:00～16:00> |
| 1  | 8  | 土                               | スマートフォン講座 ① <13:30～15:00>  |
|    | 15 | 土                               | スマートフォン講座 ② <13:30～15:00>  |
|    | 18 | 火                               | 元気あっぷ生き生き倶楽部 <13:30～15:00>   |
|    |    |                                 | 澤田ドクターの健康勉強会 <15:00～15:30>   |
| 23 | 日  | ハーブのある暮らし講座 *保湿効果のあるクリーム等を作ります。 |  |

◆12月27日(月)～1月4日(火)まで休館いたします

【お願い】新型コロナウイルス感染防止対策の為、受講時には原則としてマスクの着用、アルコールによる手指の消毒をお願いします。また、受講前には必ずご自宅での検温をお願いいたします。

(体温が37.5℃以上や体調が悪い場合はご遠慮ください)

\* 利用時においては、定期的な施設内の換気にご協力ください。\*



# 内浦地区作品展

11月20日(土)~28日(日)

会場：内浦公民館

地域の皆さんの趣味の作品をはじめ、内浦保育所のこどもたちの作品・内浦小中学校児童生徒の皆さんの作品を展示しました。今回は20日(土)に3つの催しを開催しました。

1階ホールでピアノミニ演奏会。公民館職員による絵本の読み聞かせと手話体験を行いました。ピアノミニ演奏会は、地域の皆さんによる演奏で曲も子供から大人まで楽しめる内容でした。楽しい時間を過ごすことができました。

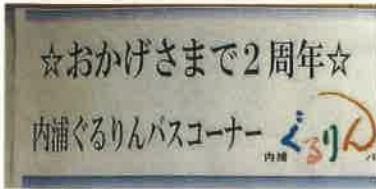


素敵な作品を展示していただきました。





内浦小中学校児童生徒の皆さん



20日の催し

ピアノミニ演奏会

内浦保育所の子供たち



ピアノ演奏の他にトロンボーンによる演奏もありました。会場の皆さんは手拍子で参加し、1階のロビーは素敵な音楽で盛り上がりました。これからも、このような催しを期待する声が聞かれました。



大人の癒し絵本の読み聞かせ・手話体験

